

岡安商事の電力取引

- ・平日は、ほぼ24h電話での取引可能
- ・ネット経由 (ISV)も可能…ブラウザ型導入予定
- ・石油市場で豊富な法人取引経験
- ・エネルギー市場の分析には自信あり

- 商取会社で始めるメリット
- ・初期費用の削減
- ・業務のアウトソーシング

セールス・ポイント



電力先物取引とは？

- JEPXスポット価格の月間平均価格を、15ヶ月先まで取引できます (月物)
- 東 (東京エリア) と西 (関西エリア) のベースロードと日中ロードが上場商品
- 取引単位は100kWhに、ベースロードは24h x 暦日数、日中ロードは12h x 平日日数が1Lot
- 電力の受渡しは無く、JEPXの月間平均で差金を清算します
- つまり、**将来のJEPXスポット価格の月間平均価格を現段階で固定化出来ます** (ヘッジ取引)
- 売買は0.01円きざみ、1kWhの価格で取引されます
- 基本手数料は、東西共通でベースロード：3,800円、日中ロード：1,380円 (税抜・片道)
(差金決算の為、手数料は実際、売り/買い、往復分が取引コストとなります)

お問合せは？

法人部 / 電力担当：木下まで

TEL：06-6227-5656

✉ katsumi.kinoshita@okayasushoji.co.jp

■ 取扱一覧

- ・国内先物市場の仲介
- ・海外先物市場の仲介 (WTI原油・Brent原油・米国産LNG/注)
- ・国内石油製品の販売 (事業者コード：2748770007/0034)
- ・外国為替証拠金取引・株価指数証拠金取引の仲介
- ・純金積立

注：10/14上場予定



株式会社 東京金融取引所
Tokyo Financial Exchange Inc



■ PR

◎ [記者ノート]

人材生かし、法人向け事業拡大=岡安商事・系法人部副部長 - 時事ニュース サービス

2019年6月10日 06:39:27

▽「人材という強みを生かし、法人の顧客層を広げていきたい」?と話すのは、岡安商事法人部の責任者である系幸二副部長だ。法人向けサービスの拡大に努め、昨年からは東京商品取引所のインターネット上の現物市場「TOCOMウインドウ」での注文発注代行サービスを始めた。今年に入ってから、5月にニューヨーク原油 (WTI) や英北海ブレントなどの海外先物に関し、対面での注文受け付けを開始。～中略～ 顧客は、ガソリンスタンドのオーナーから石油専門商社まで幅広い。人の手を介するサービスを重視。東商取の夜間取引の時間帯は、必ずスタッフが本店に詰めて電話で対応している。市場ばかりではなく、仕入れ先などの幅広いネットワークから得た情報を活用し、「実勢から懸け離れた買い物をするなどがないように注文を出してもらうことを心掛けている」と力を込める。<代>nJJ12kLWa